

歯科インプラントの手術併発症特論（河奈 裕正）

Advanced Course of Dental Implant Surgery Complications（Hiromasa Kawana）

キーワード

- ①臨床解剖
- ②臨床病理
- ③画像診断
- ④基本手術手技
- ⑤手術併発症

関連する学位授与方針
DP(ディプロマポリシー)

①,②,③,④

関連する教育実施方針
CP(カリキュラムポリシー)

①,②,④,⑤,⑥

授業概要

口腔インプラントの手術併発症について、防止するための術前の診断、起こしてしまった場合の術中、術後の対応について、臨床解剖学、臨床病理学、画像診断、外科基本手技に基づいて集学的に考察していく。本講義の概要は、学生の講義においても紹介しているが、より実践的、かつ、専門的立場で講義する。

授業科目の学修目標

安全で手際の良い手術は、基礎医学、基礎歯科医学に基づいていることを修得する。

授業計画

- ①口腔インプラントの手術併発症に関わる臨床解剖を教授する、5コマ 河奈裕正
- ②口腔インプラントの手術併発症に関わる臨床病理を教授する、5コマ 河奈裕正
- ③口腔インプラントの手術併発症に関わる画像診断を教授する、5コマ 河奈裕正
- ④口腔インプラントの手術併発症に関わる基本手術手技を教授する、10コマ 河奈裕正
- ⑤口腔インプラントの手術併発症への実践的、かつ、専門的対応を教授する、5コマ 河奈裕正

教科書および参考書

河奈裕正他 インプラント治療に役立つ外科基本手技 改訂新版、クインテッセンス出版、2015

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

口腔顎顔面領域の解剖学、病理学、画像診断学の知識

大学院生が達成すべき行動目標

- ①口腔インプラントの手術併発症に関わる臨床解剖を理解する。
- ②口腔インプラントの手術併発症に関わる臨床病理を理解する。
- ③口腔インプラントの手術併発症に関わる画像診断を理解する。
- ④外科基本手技を実践できる。
- ⑤口腔インプラントの手術併発症が発生した場合の対応を述べる事ができる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
0%	0%	20%	50%	0%	30%	0%

評価の要点

- ・レポートは、授業計画の5項目について課題を提出する。10%×2回=20%
- ・成果発表は、授業計画の項目②について外科のステップごとに実技評価する。10%×5回=50%
- ・口頭試問は、授業計画の5項目について達成度を判定する。6%×5回=30%

理想的な達成レベルの目安

口腔インプラントの手術併発症特論の理想的な達成レベルは80%以上とする。